【学校通信】

平成 30 年 1 月 10 日
第 26 号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長
大西　規之

今年の目標は決めましたか？

　新しい年、そして３学期が始まりました。「１年の計は元旦に有り」とよく言われますが、正月に今年１年頑張る目標を立てましたか。どのような目標を立てたか、どのような気持ちで目標達成に臨むかが大切だと思います。

　２学期の終業式で７０周年記念式典の際にいただいた本校卒業生有村架純さんのメッセージを再度みなさんに紹介しました。覚えていますか。もう一度目標を持つ大切さについての箇所だけ抜粋して掲載したいと思います。

　「私は、あの時（中学生の時）女優になりたいと思えて良かったと本当に思っていて、やり甲斐のある仕事に出会えて、本当に幸せだと思っています。*夢がある皆さんに伝えたいことは、叶う、叶わないではなく、そのために自分が何をしていたか、がとても大切なんじゃないかなと思います。どれだけやれたか、どれだけの思いをかけられたか、それは必ず、自分の強さに変わります。*デビューして六年、今こうして、色んなお仕事をさせていただいていて戸惑うこともあるけど、自分自身強くなれたし、こんなにも見える世界が変わるんだと、信じる気持ちで、いくらでも変われるんだと思いました。*小さな目標でも、いいと思います。目標を持つことが、夢へ進む一歩だと私は思っています。初めてのことは怖いけど、誰にでも初めてはあるから、どうか恐れないで、挑戦してもらえたら嬉しいです*」

日に新た

（松下幸之助 氏「この日この朝」１月１日朝日新聞朝刊より）

心静かに年が明けて、
心静かに新年の計を立てる。
まずはめでたい新春の朝である。
行く年の疲れをいやしつつ、
去りし日の喜びを
再びかみしめている人もあろうし、
あるいは過ぎし年の憂き事に
しばしの感慨をおぼえている人もあろう。
人はさまざま。
人のさだめもその歩みもまたさまざま。
さまざまななかに、
さまざまな計が立てられる。
*そんななかでも大事なことは、
今年は去年のままであっては
ならないということ、
きょうは昨日のままであっては
ならないということ、
そして明日はきょうのままで
あってはならないということ
である。*

万物は日に新た。
人の営みもまた、天地とともに
日に新たでなければならない。
憂き事の感慨はしばしにとどめ、
去りし日の喜びは、
これをさらに大きな喜びに変えよう。
立ちどまってはならない。
きょうの営みの上に、あさっての新たな思いを。
そんな新鮮な心を持ちつづけたい。
そんな思いで、この日の朝を迎えたい。

昨日の自分を超えていけ

（独立行政法人大学入試センター理事 浅田和伸 氏）
「内外教育」１２月２２日号より

　長年不規則な生活を続けているが、年も年だし少しは自己管理をしようと、最近はいくつかの項目について手帳に〇×をつけている。

　例えば、〈酒〉。飲んだ日は×、飲まない日は〇。〈走〉週２回くらいはジョギングをと思っていて、走れた日は〇、走れなかった日は×。１日単位だと気づかないが、１ヶ月分まとめると、こりゃまずいとはっきり自覚できるようになる。

　まもなく正月。「今年はやるぞ」と決意するのは誰でもできる。だが続けるのは本当に難しい。校長時代、生徒たちによく「どんなことでも１年間毎日続ければ必ず成果が出るよ」と話したが、自分自身ができているかどうか。

『昨日の自分を超えていく』

これは先日シンポジウムでご一緒した埼玉県立浦和高校の杉山剛士校長のお話にあった言葉。そうだと思わず書き留めた。この年で成長はどれだけあるか疑わしいが、*それでも「昨日の自分」を日々少しずつでも超えていきたいと思う。*

～中略～

　今年はいろいろあって疲れたが、*来年の今頃は、今より少しは成長できたと思える年にしたい。*

『昨日の自分を超えていけ』

皆さん、良いお年を。

３人の方からのメッセージは以下のようにまとめられると思います。

①小さな目標でも持つこと。
②目標が叶わなくとも、どれだけやれたか、どれだけの思いをかけられたかが大切。
③去年の、昨日の、そして今日の自分を少しずつでも超えていくこと。

この１年が有意義な年となることを願っています。